

**器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。**

**■使用上のご注意**

●照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。  
 数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

**■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。**

**△警告** 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

**△注意** 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行ってください。

**1 電源を切る**

**2 古くなったランプを取外す**

**3 新しいランプを取付ける**  
 ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。落下によるけがの原因になります。

ソケット  
ランプピン  
ランプ

①差し込む  
②ランプを90°回転させる

ランプピンをソケットに確実に差し込み、90°回転させて取付ける。  
 ※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

**4 使用済みのランプは必ず市区町村の指示に従い、処理してください。**

**■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。**

●明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。  
 ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。

●蛍光灯の両端が黒ずみだしたら交換時期です。  
 長い間使用していると知らないうちに暗くなってきます。定期的に交換しましょう。

●器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。  
 シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

型番 FTG2111AZ・FTG2112AZ  
 KTG2106AZ

**お客様へ** 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。 **保存用**

**工事店様へ** 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

**【安全上のご注意】**

<b>警告</b>		この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
<b>！</b> 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	<b>○</b> 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。
<b>○</b> 禁止	このような場所には取付けしないでください。この器具は天井・壁取付両用器具です。傾斜天井などには取付けできません。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けしないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。	<b>！</b> 厳守	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
<b>○</b> 禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	<b>！</b> 厳守	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。
<b>！</b> 厳守	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	<b>！</b> 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

<b>注意</b>		この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
<b>○</b> 禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	<b>○</b> 禁止	器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
<b>○</b> 禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	<b>！</b> 厳守	この器具は周波数が50Hz用と60Hz用の区別があります。必ず取付ける地域の周波数と器具の周波数があるか確認してください。 →間違えて使用すると火災の原因になります。
<b>○</b> 禁止	周囲温度5~35℃、湿度45~85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	<b>！</b> 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
<b>○</b> 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。		

**■定格**

型番	定格電圧	周波数	消費電力	使用ランプ	使用点灯管
FTG2111AZ・FTG2112AZ KTG2106AZ	AC100V	50または60Hz	22W(24W)	FL 20SS/18×1 (FL 20S×1)	FG-1E×1

**保証とアフターサービスについて**

保証について	修理を依頼されるとき
<ul style="list-style-type: none"> <li>この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器は3年間です。</li> <li>ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。</li> <li>24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。</li> <li>取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。</li> <li>ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。</li> </ul>

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

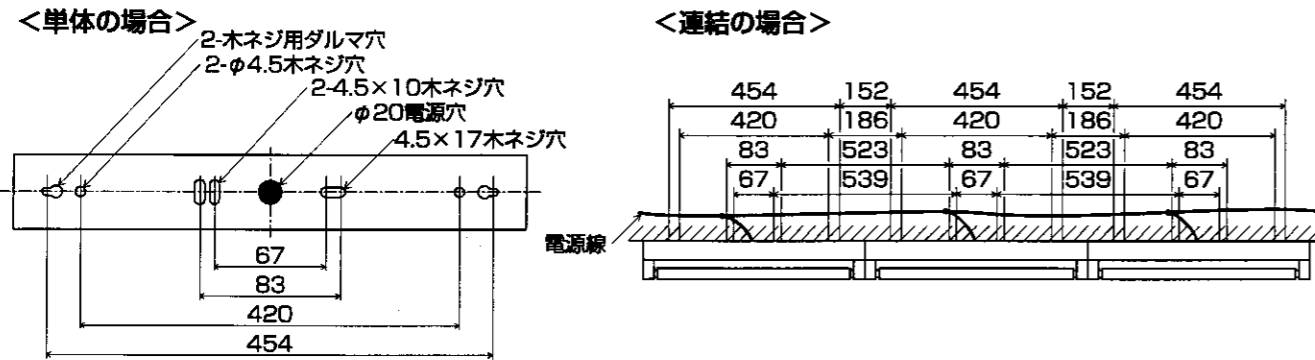
木ネジは丸木ネジの呼び3.8以上を使用する。

2 取付面がクロス貼りの場合

接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。  
変色やサビの原因になります。

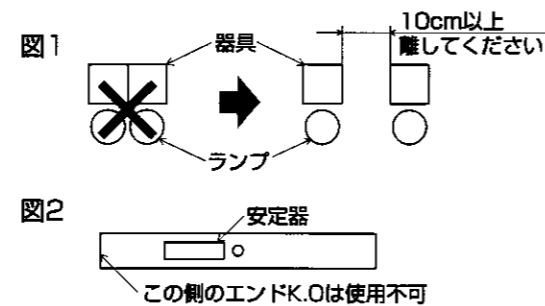
3 取付ピッチ

下図の<単体の場合>は器具を取付面から見た図です。また、<連結の場合>は側面から見た図です。



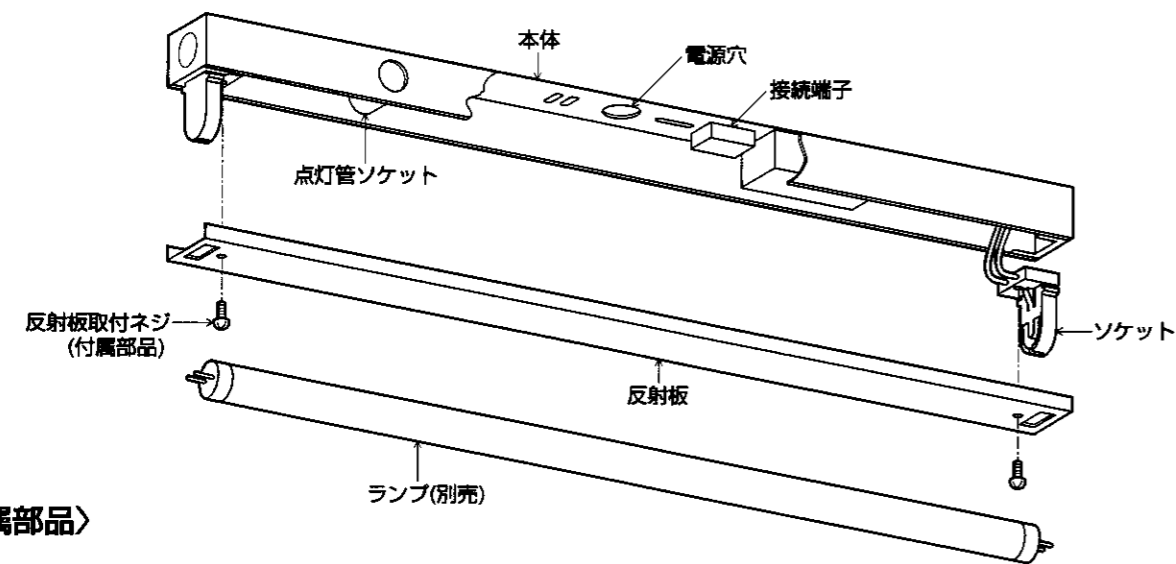
4 器具を連結する場合

- 電源・送り配線は、天井裏配線をおすすめします。
- 図1に示すように、器具を密集して取付けないでください。密集させて取付けると、過熱により火災の原因となります。
- 器具内の送り配線をされる場合は、安定器を内蔵している側のエンドK.Oは使用しないでください(図2)。安定器の熱により、電線が過熱し感電、火災の原因となります。



■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。  
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

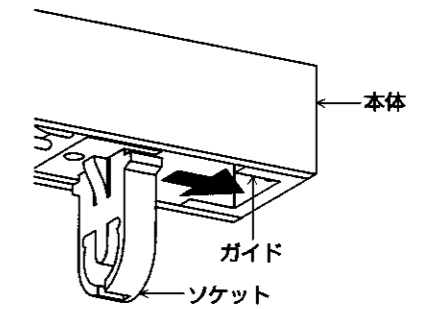


<付属部品>

- 点灯管.....1個
- プッシング.....1個
- 反射板取付ネジ.....2本

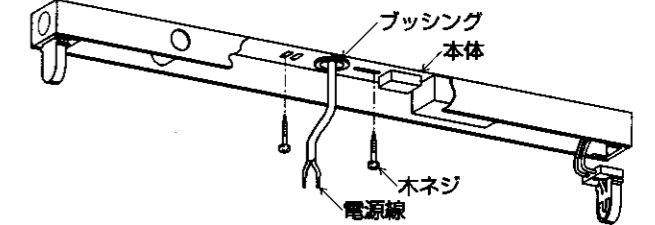
1 ソケットを取付ける

ソケットをガイドに合わせてスライドさせる。



2 本体を取付ける

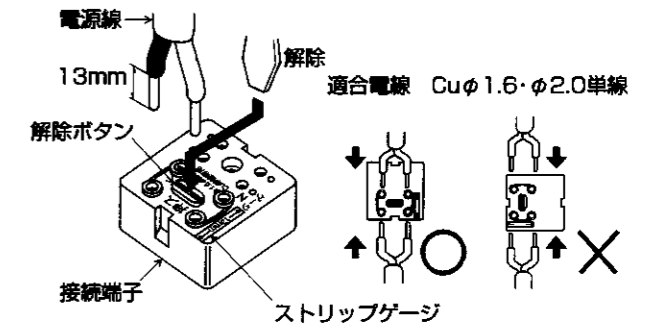
本体の電源穴にプッシングを取付け、電源線を通し、木ネジ(市販品)で確実に取付ける。



3 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は照明器具専用とする。(接続端子の容量は20A) はずす時は解除ボタンを押し、電源線を抜く。

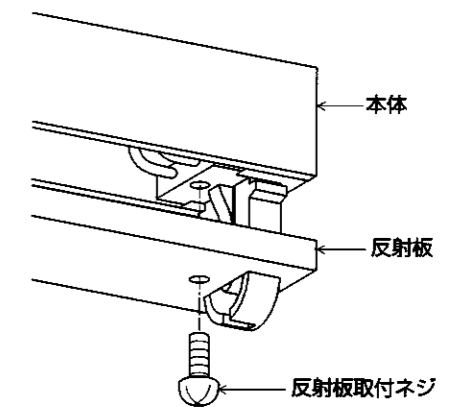
△警告 電源の接続を確実に行ってください。接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は火災の原因になります。



4 反射板を取付ける

反射板を本体に合わせ、反射板取付ネジで取付ける。

※反射板の形状は型番により異なります。



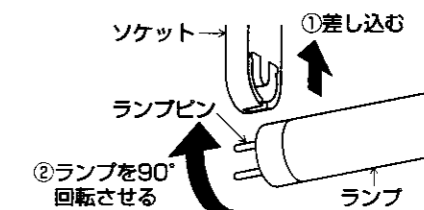
5 点灯管を取付ける

点灯管を点灯管ソケットに取付ける。

6 ランプ(別売)を取付ける

ランプピンをソケットに確実に差し込み、90°回転させて取付ける。

※差し込みが浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。



7 点灯の確認を行なう